一丁目通信

2019年5月117号

Arts-eihan
発行：株式会社アーツエイハン
WEB：http://eihan.com　Mail：info@eihan.com
〒160-0022
東京都新宿区新宿1-18-13　協建新宿一丁目ビル
電話：03-3355-1241　FAX：03-5362-9325

令和という響きが気持ちよい。
新たな時代になっても、フルスロットルで駆け抜ける事、
ただそれだけ

代表取締役　飯塚吉純

招待券封入！

展示会情報

グループ会社のエイコム株式会社の展示会情報です。JAPAN ITWeek 店舗 IT ソリューション展はご招待券を同封しております。是非お越しくださいませ。

5月8日～10日
『JAPAN ITWeek
店舗 IT ソリューション展』
東京ビッグサイト西3ホール

6月12日～14日
『デジタルサイネージジャパン 2019』
幕張メッセ

時代は令和へ

記事：代表取締役　飯塚吉純

平成が終わり令和元年へ。
個人的には昭和から平成に変わったのもつい最近のような気がしてならないのは年齢のせいか。
平成の始まりの時も、職責は違うものの、映像業界の片隅にいたことは同じだし、この30年間同じような仕事の繰り返しだった思う今日この頃。
確か平成元年はバブルの真っ只中、個人的には当時入社した前身の映像制作会社は、驚くような薄給、働き方改革どころではなく、CMでどうどうと「24時間働けますか？」と謳っていた時代、ブラック企業などの言葉はないどころか、どの会社もブラック企業状態。。。。
浮かれた世の中とは全く縁がなく、セコセコと仕事しているうちに気が付くと時代が大きく変わったしまったというのが正直なところ。平成の31年間は世の中から働かされていたという感じで、年齢もあっという間に50代半ば、振り返ると今が一番楽しい時期であることは間違いなく、平成の時代に感謝しております。
これからの時代どうなるかわかりませんが、私にとって最後の元号だと思い、自分なりに精一杯生きて延びていきたいと考えております。

感謝：お客様からお客様へ

記事：取締役プロデューサー　西坂 義弘

心から光栄なことに、お客様から別のお客様をご紹介頂くことが、おかげさまで増えてきました。
制作納品物自体とその制作過程をご評価頂いてのことだと、冥利に尽きます。甚だ手前味噌な話ですが、弊社はクリエイティブのご依頼を頂いた際、
そのお客様自身のことは勿論、その先のお客様（ユーザー様等）の業界動向や市場動向などを、よく勉強致します。また、そのお客様内での当ご依頼案件に関わる背景や課題の理解に、深く努めます。
制作納品物をより良くご活用頂く為には、本件に対する思いや目線をお客様と一にし、また、ある面では違った視点も持って取り組ませて頂く必要がある、と、考えている為です。
弊社は業社ではございますが、少なくともご依頼案件への取り組み中は、たまたま外部に在る当お客様のクリエイティブ部だ、という意識で頑張っております。…そのような意識からと行動結果が、もしかしたらお客様にご評価頂いている理由なのかもしれません。
今後も、決して奢ることなく変わらぬ意識で精進し、邁進してまいります。

続・ボードゲームのおはなし

前回に引き続き、ボードゲームのお話。
先日、ボードゲームカフェにいってきました。
都内の店舗は予約がいっぱいだったので川崎店へ。流行ってますね〜。
土日祝は5時間利用 2000円。平日やワンデイやナイトタイムだと更にお安いです。
店内は食べ物持ち込み自由なのでいろいろ持っていきました。この金額でがっつりゆっくり遊べるというだけでかなり魅力的です！
ゲーム的には４人以上で行くほうがいろいろ楽しめると思います。
ですがそんなにボドゲ好きの友達いないよって人は１人〜３人で行っても、相席OKのテーブルに混ざってゲームができるらしいです。結構多いらしいです。うーん…結構難易度高い気がしますが…ボードゲーム好きな人ってアクティブな人多いんでしょうか？？
さて、ゲームは300種類以上あるそうなので、飽きるということはなさそうです。
その日は「お邪魔者」、「人間ゲーム」、「インサイダー」等で遊びましたが盛り上がりました。
ルールも店員さんが最初に教えてくれるので、とてもわかり易かったです。
すっごく気軽に遊べるので、友達と遊ぶ予定だけど何しよう〜あんまり混んでる所行きたくないし、疲れるのやだし〜という方はとりあえず一回行ってみてください♪

記事：WEBチーム　山室 亜耶

「JELLY JELLY CAFE」川崎店

無料で便利なフリー素材 第１回

記事：WEBチーム　鮎川絢一

社内資料やウェブサイトのイメージとして写真やイラストを使いたいけど予算付きづらい。こんな事、よくありますよね！ そんなときにお世話になれるのが無料で利用できるフリー素材。今回からネタの尽きるまでご紹介させていただこうと思います。
記念すべき第一回はみんな知ってる「いらすとや」と、写真の素材を扱っている「写真素材 足成」の２サイトをご紹介します。

「いらすとや」
https://www.irasutoya.com/
メジャーになりすぎて逆に使いづらくなった印象すらある「超」有名フリー素材サイト 独特なタッチで統一感のあるイラストが利用できます。

「写真素材 足成」
http://www.ashinari.com/
主にアマチュアカメラマンが撮影した風景や人物の写真が利用できるフリー素材サイト 男性、女性とも生活感のあるモデル写真が無料で利用できます。

※ご紹介したサイトは無料で商用利用が可能なものですが、利用規約の変更や素材ごとの提供ライセンスが異なる場合もございますのでご利用の際は各サイトの利用条件をご確認ください。

イヤイヤ来るのが面倒くさい。

とにかく毎朝の通勤電車が苦痛です。どうすれば（物理的に）会社に来ずに仕事ができるかと真剣に考えています。撮影はもちろん現地でないと出来ないので除外するとして、映像制作においてはもう効率を考えると、もう目新しくもないし定着もしないし表現で使うのに自意識が邪魔をするいわゆる「ノマド」でいいんじゃないでしょうか？平たく言えば「在宅勤務」ですね。大変に魅力的です。電車が遅れた止まったなんて関係なく、アプリを立ち上げればすぐにミーティングだって可能です。絶対に便利なのにそうならない、ゆくゆくはそうなるのにまだならない。なにが歯止めになっているか？ そりゃあ慣習です。慣れてないだけ！ こんな話、ながーいGW開けにピッタリですよね？

記事：映像チーム　佐藤豊